

安養川

Anyang cheon

韓国



安養川は、韓国で行われた都市河川整備の中のシンボルのひとつです。安養川は、良才川、清溪川について河川整備が行われた事例です。

安養川が流れる安養市は、ソウル郊外に位置し、経済成長期にたくさんの工場ができ、ベッドタウンとしても発展しました。このため、工場排水や生活排水が河川に流入し、1990年代には、BODは約200mg/lが観測されています。

さらに洪水被害を防ぐために、河川は護岸で覆われ、直線化されました。こうして安養川はフェンスで囲まれ、水の汚い人の近づけない河川となってしまいました。



1999年、安養川を再生するためにタスクフォースチームが組織されました。2001年には、今後10年で実施する内容を定めた安養川再生マスタープランが策定されました。

安養川では、自然にやさしい川の再生を目指し、護岸に自然の材料を使用し、緩やかな傾斜の護岸を



整備前



整備後

形成しました。また河川空間をその特徴によって、保護地区、回復地区、改善地区の3つに分けて整備が行われました。安養川では、こうした水辺の植生や親水空間を創出するだけでなく、河道内の砂州や瀬・淵の移動に着目し、入念な川の特性調査を実施したことが特徴だと言えます。河川の流量についても検討され、浄化された水を河川に戻すことで、水質がきれいなどころに生息するタカハヤという魚が戻ってきました。



現在の安養川

安養川の河川整備の良好な成果はマスコミが着目するまでになりました。河川整備後は、安養川復興ネットワークや安養川水質委員会等を中心とした市民活動も活発に見られるようになり、人々が近づくのを避けたかつての汚れた川は姿を変え、整備後には近隣マンションの価格は急に上がりました。安養川は緑豊かな心やすらぐ景観になり、水質もよくなったため臭いもなくなり、子どもたちが川に入っているいろいろな生物に触れられる川になっています。リバーコンサートや村祭り川ツアーなどのイベントも行われています。



整備前



整備後



整備前



整備後